

市長退任の ごあいさつ



これからの札幌の一層の発展を願って

私は、5月1日をもちまして、3期12年にわたる札幌市長の職を退任いたします。

この間、一貫して「市民自治」を市政運営の根幹に据え、「市民の力みなぎる、文化と誇りあふれるまち」の実現を目指してまいりました。皆さんと共にまちづくりを進めてきた結果、千を超える地域活動が生まれたほか、ごみの大幅な減量などを成し遂げることができました。市民の力、地域がつながることの素晴らしさを実感できる、大きな成果であったと感じています。皆さんの熱意と行動力に、心から感謝申し上げます。

これからの札幌は、超高齢社会、人口減少という未知の時代を迎えます。そうした中でも発展を続けていくためには、市民一人一人の創造性を十分に発揮できる環境を整えることが大切であると考え、「創造都市さっぽろ」の取り組みを進めてきたところです。これが世界的に高い評価を受け「ユネスコ創造都市ネットワーク」への加盟を果たしました。その象徴的な事業として、昨年初めて開催した「札幌国際芸術祭」は、新たな視点でまちの未来を考えるきっかけになったと思っています。

そして、創造性あふれる市民の力

を結実させるのが、冬季オリンピック・パラリンピックの招致です。世界最大のスポーツイベントの開催は、子どもたちの夢と誇りを持つ心を育むとともに、都市基盤の更新やバリアフリーのまちづくりが加速する絶好の機会となります。実現には、いくつものハードルが待ち受けていますが、多くの市民が夢を共有し、一丸となって取り組むことで、必ず叶えられると信じています。

時代の大きな転換点に立つ札幌は、これまでも増して困難な局面を乗り越えていかなければなりません。しかしながら、これまで培ってきた「鍛え抜かれた市民力」が、その困難を乗り越え、札幌の明るい未来を切り開く鍵になると確信しています。

全国一とも評される札幌の魅力と市民の誇り。これを次の世代へ引き継ぎ、世界が憧れるまちとして輝き続けるため、今後とも、皆さんのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。私も一人の市民として、札幌の発展に貢献していきます。12年間、本当にありがとうございました。

前札幌市長

上田 文雄